

会告 I

2017年第65回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内(第6報)

会期：2017年(平成29年)6月22日(木)～6月24日(土)

会場：幕張メッセ 国際会議場

テーマ：輸血・細胞治療の新潮流～世界を見据えて～

総会長：浅井 隆善(千葉県赤十字血液センター 所長)

第65回総会本部：

千葉県赤十字血液センター

〒274-0053 千葉県船橋市豊富町690

TEL：047-457-0711(代表) FAX：047-457-7304

第65回総会事務局長：

奥山 美樹 部長

がん・感染症センター都立駒込病院 輸血・細胞治療科

〒113-8677 東京都文京区本駒込三丁目18番22号

TEL：03-3823-2101 FAX：03-3823-8048

第65回総会企画顧問：

田中 朝志 准教授

東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科

〒193-0998 東京都八王子市館町1163番地

TEL：042-665-5611 FAX：042-667-5899

第65回総会運営事務局(演題登録, 展示申込等)：

株式会社メッド 品川営業所 内

〒108-6028 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟28階

TEL：03-6717-2790 FAX：03-6717-2791

E-mail：65jstmct@med-gakkai.org

学会本部事務局(学会入会申込等)：

一般社団法人日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル5階

TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612

E-mail：info@mail.jstmct.or.jp

第65回総会ホームページ：<http://www.med-gakkai.org/65jstmct/>

事前参加登録：平成29年5月31日(水)まで、総会ホームページにて募集しております。

[参加費] 一般10,000円

※事前参加登録にご協力いただきました場合、会員懇親会の参加費3,000円を1,000円OFFとさせていただきます。

当日参加受付(予定)：

[参加費] 一般10,000円

平成29年6月21日(水)12:00～17:00

6月22日(木) 08:00~17:00

6月23日(金) 08:00~17:00

6月24日(土) 08:00~14:00

会員懇親会のご案内：

[参加費] 3,000円(当日申し込みの場合)

[日 時] 平成29年6月23日(金) 19:00~

[場 所] ホテルニューオータニ幕張 2F 鶴の間

託児施設のご利用について：

本会より、会場内に臨時託児施設を設けます。

[託 児 料] 有料 1,000円(税込)/1日お一人あたり

[申込期間] 平成29年2月8日(水)~6月14日(水)

※詳細は総会ホームページをご確認ください。

Fun Runのご案内：

[コース] 幕張海岸公園~幕張海岸

[参加費] 無料

[備 考]・雨天中止

- ・希望者の方を対象に記念写真撮影を行います。
- ・参加者には、参加記念品を進呈いたします。
- ・健康管理は自己責任でお願いします。

※詳細、申込方法については総会ホームページをご確認ください。

コンgresバッグのご案内：

ナースキティとチーバくんのイラストをワンポイントにあしらった2WAYバッグ(手提げバッグ、リュックサック)をご用意しております。当日、総合受付にてお受け取りください。



プログラム

(平成29年3月21日現在)

※敬称略, 一部仮題

<特別講演>

1 「iPS 血小板は、献血 PC 製剤とは別物か？」

6月22日(木) 11:00~12:00

座長 奥山 美樹 (がん・感染症センター都立駒込病院 輸血・細胞治療科)

演者 江藤 浩之 (京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門, 千葉大学医学研究院 イノベーション再生医学)

2 「新興再興感染症と予防対策」

6月22日(木) 13:30~14:30

座長 清水 勝 (西城病院)

演者 佐竹 正博 (日本赤十字社中央血液研究所)

3 「細胞治療の将来」

6月23日(金) 11:00~12:00

座長 前川 平 (京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

演者 中畑 龍俊 (京都大学 iPS 細胞研究所)

4 「TMA の鑑別診断と治療の考え方：特に血漿療法, 血小板輸血, 抗体薬による治療」

6月23日(金) 17:20~18:20

座長 半田 誠 (慶應義塾大学輸血・細胞療法センター)

演者 藤村 吉博 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

<招請講演>

1 「ポリコーム群複合体による造血幹細胞のエピジェネティック制御」

6月22日(木) 11:00~12:00

座長 池淵 研二 (埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部)

演者 岩間 厚志 (千葉大学大学院 医学研究院 細胞分子医学)

2 「Milestone of Transfusion Medicine in Taiwan」

6月22日(木) 14:30~15:30

座長 室井 一男 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部長)

演者 朱 芳業 (台湾輸血学会 理事長)

3 「赤血球抗体の臨床」

6月23日(金) 14:00~15:00

座長 稲葉 頌一 (日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター 埼玉製造所)

演者 Christopher P. Stowell, (Director, Blood Transfusion Service Associate Director,
Pathology Residency Training Program Massachusetts General Hospital)

4 「HBV 母子感染対策の推移と更なる工夫」

6月23日(金) 14:00~15:00

座長 大戸 斉 (福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座)

演者 稲葉 憲之 (獨協医科大学)

5 「若年層献血推進による輸血用血液の確保対策—小・中・高等学校向け出前講座の高校生献血に与えた効果」

6月23日（金）15：10～16：10

座長 中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

演者 溝口 秀昭（埼玉県赤十字血液センター，東京女子医科大学）

6 「The Transfusion Nurse in Australia：now and into the future」

6月23日（金）16：10～17：10

座長 水田 秀一（藤田保健衛生大学 血液内科）

演者 Linley Bielby（1. Blood Matters, Melbourne Victoria Australia,
2. Australian Red Cross Blood Service, Victoria, Australia）

7 「Expanded Role of Transfusion Medicine in the US」

6月23日（金）17：20～18：20

座長 米村 雄士（熊本大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

演者 照屋 純（米国，ベイラー医科大学教授）

8 「iPS 肝臓での血漿蛋白産生」

6月24日（土）11：00～12：00

座長 高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

演者 武部 貴則（横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学）

<総会長講演>

「輸血後 GVHD とその対策」

6月23日（金）13：30～14：00

座長 十字 猛夫（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所名誉教授）

演者 浅井 隆善（千葉県赤十字血液センター）

<教育講演>

1 「新生児における CMV 感染経路」

6月22日（木）11：10～11：40

座長 小原 明（東邦大学医療センター大森病院）

演者 永井 正（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

2 「洗浄・置換血小板の特徴と適応」

6月22日（木）11：10～11：40

座長 井関 徹（千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

演者 石田 明（埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植科）

3 「TACO の予防：週末 TACO と Isovolemic Transfusion」

6月23日（金）11：10～11：40

座長 比留間 潔（比留間医院 院長）

演者 松崎 浩史（福岡県赤十字血液センター）

4 「臍帯血移植の現状」

6月23日（金）11：10～11：40

座長 加藤 俊一（東海大学医学部付属病院 細胞移植再生医療科）

演者 高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

5 「輸血に関する事故防止—医療事故情報収集等事業への報告事例から—」

6月24日(土) 11:10~11:40

座長 藤井 康彦(山口大学附属病院輸血部)

演者 坂口 美佐(公益財団法人日本医療機能評価機構)

<シンポジウム>**1 「赤血球不規則抗体に関する国際シンポジウム Part II」**

6月22日(木) 09:00~11:00

司会 岡崎 仁(東京大学医学部附属病院 輸血部)

竹下 明裕(浜松医科大学附属病院輸血細胞治療部)

(1) 「Irregular Erythrocyte Antibodies—A New Zealand Overview」

演者 Lorna Wall (New Zealand Blood Service)

(2) 「The Study of Irregular Erythrocyte Antibodies in Taiwan」

演者 Sabrina Lei Li (Taiwan Blood Services Foundation)

(3) 「米国における不規則抗体」

演者 Christopher P. Stowell (Director, Blood Transfusion Service Associate Director,

Pathology Residency Training Program Massachusetts General Hospital)

(4) 「Recent Studies of Irregular Erythrocyte Antibodies in Japan」

演者 竹下 明裕(浜松医科大学附属病院輸血細胞治療部)

2 「E型肝炎ウイルス感染の実状と対策」

6月22日(木) 09:00~11:00

司会 佐竹 正博(日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

演者 岡田 義昭(埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部)

(1) 「日本の献血者における HEV 感染状況」

演者 松林 圭二(日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所)

(2) 「わが国の移植医療における E型肝炎の動向」

演者 大城 幸雄(筑波大学医学医療系 消化器外科・臓器移植外科)

(3) 「血漿分画製剤における E型肝炎ウイルスの安全対策」

演者 柚木 幹弘(日本血液製剤機構 研究開発本部)

(4) 「国内血液製剤における E型肝炎ウイルス感染リスクの評価と規制」

演者 岡田 義昭(埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部)

3 「遺伝子細胞治療」

6月22日(木) 09:00~11:00

座長 浅野 茂隆(早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構)

長村登紀子(東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部)

(1) 「基調講演」

演者 長村登紀子(東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部)

(2) 「遺伝性疾患に対する遺伝子細胞治療の現状と展望」

演者 小野寺雅史(国立成育医療研究センター研究所 成育遺伝研究部)

(3) 「成人遺伝子細胞治療」

演者 小澤 敬也(東京大学医科学研究所附属病院)

4 「自己フィブリン糊の臨床的成果を検証する」

6月22日(木) 13:30~15:30

座長 牧野 茂義(虎の門病院 輸血部)

藤島 直仁(秋田大学医学部附属病院 輸血部)

(1) 「口腔外科手術における自己フィブリン糊と PGA シートを用いた創部被覆の臨床的評価」

演者 額 額 衆 (東北大学大学院歯学研究科 口腔病態外科学講座 顎顔面・口腔外科学分野)

(2) 「自己フィブリン糊の肝胆膵手術における臨床経験」

演者 安保 義恭 (手稲溪仁会病院 外科)

(3) 「脳神経外科手術における自己フィブリン糊の有用性と安全性」

演者 中山 則之 (岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科)

(4) 「抗血栓療法中の胃内視鏡的粘膜下層剥離術の後出血予防における PGA シートと自己フィブリン糊の有用性の検討」

演者 菊池 大輔 (虎の門病院 消化器内科)

5 「診療所・在宅における輸血療法の在り方」

6月22日(木) 13:30~15:30

座長 半田 誠 (慶應義塾大学輸血・細胞療法センター)

北澤 淳一 (青森県立中央病院 臨床検査部)

(1) 「山形県及び東北地方における在宅輸血に関する調査結果報告—在宅輸血における現状と課題—」

演者 黒田 優 (山形県赤十字血液センター)

(2) 「診療所・在宅輸血における検査についての問題点」

演者 二木 敏彦 (金沢赤十字病院 検査部)

(3) 「診療所・在宅輸血現場への血液搬送に関する問題点」

演者 小田 秀隆 (福岡県赤十字血液センター 事務部 学術課)

(4) 「東京都血液製剤適正使用部会, 東京都輸血療法研究会の活動」

演者 藤田 浩 (東京都立墨東病院 輸血科)

(5) 「小規模医療機関・診療所看護師を対象とした輸血教育の実践」

演者 西塚 和美 (黒石市国民健康保険黒石病院)

(6) 「学会タスクフォースによる在宅輸血ガイドライン (案)」

演者 北澤 淳一 (青森県立中央病院 臨床検査部)

6 「輸血検査の精度管理・業務管理」

6月22日(木) 15:40~17:40

座長 日高 陽子 (東邦大学医療センター大森病院)

岸野 光司 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

(1) 「日臨技臨床検査精度管理調査の結果と現状」

演者 三浦 邦彦 (手稲溪仁会病院 臨床検査部)

(2) 「都立病院で実施している精度管理とアフターフォローについて」

演者 遠藤 彩子 (東京都立広尾病院 検査科)

(3) 「輸血機能評価認定 (I&A 制度) 新旧を受審して」

演者 小山田和子 (日立総合病院 検査技術科)

(4) 「輸血検査における ISO15189 認定について」

演者 下田 勝二 (日本適合性認定協会)

(5) 「ISO15189 受審経験による, 整備された精度管理と業務管理・輸血検査室の変革」

演者 梁瀬 博文 (静岡県立静岡がんセンター)

(6) 「在宅輸血の現状」

演者 松尾 英男 (えびす英クリニック)

7 「国際学会へのいざない」

6月23日(金) 09:00~11:00

座長 宮田 茂樹 (国立循環器病研究センター 輸血管理室)

浅井 隆善 (千葉県赤十字血液センター)

(1) 「8th Congress of ISBT (1960) を契機として」

演者 二之宮景光 (元 東京都立府中療育センター)

(2) 「24th Congress of the ISBT 1996 会長を務めて」

演者 湯浅 晋治 (順天堂大学名誉教授)

(3) 「ISBT 会長を務めて —ISBT の概要について—」

演者 高本 滋

(4) 「ISBT Regional Director を務めて」

演者 佐竹 正博 (日本赤十字社中央血液研究所)

(5) 「The Current Status and Future Role of the Japanese Transfusion Medicine (and Cell Therapy)」

演者 Paul Strengers (Consultant, Former Medical Director Sanquin, Amsterdam, The Netherlands)

8 「輸血を必要とする血液疾患と輸血副反応のマネジメント」

6月23日(金) 09:00~11:00

座長 石川 隆之 (神戸市立医療センター中央市民病院血液内科)

芦田 隆司 (近畿大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター)

(1) 「骨髓異形成症候群の基礎知識」

演者 富田 章裕 (藤田保健衛生大学病院血液内科・化学療法科)

(2) 「再生不良性貧血の基礎知識」

演者 山崎 宏人 (金沢大学附属病院 血液内科)

(3) 「骨髓増殖性腫瘍の基礎知識」

演者 山口 博樹 (日本医科大学血液内科)

(4) 「輸血副反応と輸血後鉄過剰症のマネジメント」

演者 牧野 茂義 (虎の門病院 輸血部)

9 「I&A をどう活用するか—医療安全の視点で—」

6月23日(金) 09:00~11:00

座長 田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科)

河野 武弘 (大阪医科大学医学部 医学科 輸血室)

(1) 「How we should utilize I&A in a view of medical safety.」

演者 照屋 純 (米国, バイラー医科大学教授)

(2) 「わが国における輸血機能評価認定制度 (I&A)~これまでとこれから~」

演者 坊池 義浩 (神戸学院大学栄養学部 臨床検査学部門)

(3) 「病院機能評価と I&A の連携」

演者 寺崎 仁 (東京女子医科大学)

(4) 「新 I&A 受審を経験して (大学病院)」

演者 金子 誠 (山梨大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

(5) 「新旧 I&A 受審を経験して」

演者 藤田 秀文 (JA 秋田厚生連 大曲厚生医療センター 臨床検査科)

(6) 「新旧 I&A のインスペクターを経験して」

演者 飛田 規 (磐田市立総合病院)

10 「学会アルブミンガイドラインの運用と問題点：適正使用促進に向けて<関連学会合同シンポ>」

6月23日(金) 15:10~17:10

座長 安村 敏 (富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部)

牧野 茂義 (虎の門病院 輸血部)

(1) 「アルブミンガイドラインの概要と問題点について」

演者 安村 敏 (富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部)

(2) 「チーム医療によるアルブミン製剤の国内自給推進について」

演者 牧野 茂義 (虎の門病院 輸血部)

(3) 「適正使用への壁：外科医にとってのアルブミンの意義」

演者 深柄 和彦 (東京大学医学部附属病院手術部)

(4) 「周術期輸液の考え方～麻醉科医の立場より～」

演者 辛島 裕士 (九州大学大学院医学研究院 麻醉・蘇生学)

(5) 「肝臓内科における高張アルブミン製剤の使用について～学会ガイドラインとの対比～」

演者 野崎 昭人 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 輸血部)

(6) 「輸血部門によるアルブミン製剤の適正使用推進」

演者 河野 武弘 (大阪医科大学附属病院輸血室)

11 「徹底討論：大量出血症例に対する輸血治療として、フィブリノゲン製剤は推奨されるべきか？」

6月23日(金) 14:30～17:00

座長 室井 一男 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

上田 裕一 (奈良県総合医療センター 総長)

(1) 「科学的根拠に基づいた大量出血症例に対するフィブリノゲン製剤の有効性, 安全性の検討」

演者 宮田 茂樹 (国立循環器病研究センター 輸血管理室)

(2) 「心臓血管外科領域におけるフィブリノゲン製剤の有効性, 安全性」

演者 碓水 章彦 (名古屋大学大学院 心臓外科)

(3) 「産科危機的出血への対応指針 2017 におけるフィブリノゲン製剤の取り扱いと現状」

演者 牧野真太郎 (順天堂大学産婦人科)

(4) 「重要外傷患者に対する初期蘇生にフィブリノゲン投与は推奨されるのか？」

演者 久志本成樹 (東北大学大学院 医学系研究科 外科病態学講座救急医学分野)

(5) 「フィブリノゲン製剤の投与基準をどのように考えるか？」

演者 香取 信之 (慶應義塾大学医学部 麻酔学教室)

(6) 「フィブリノゲン製剤の適応となる病態と投与意義」

演者 山本 晃士 (埼玉医科大学総合医療センター 輸血細胞医療部)

12 「胎児組織由来間葉系細胞と新たな可能性」

6月24日(土) 09:00～11:00

座長 長村登紀子 (東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部)

三浦 康生 (京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

(1) 「臍帯血由来間葉系細胞」

演者 三浦 康生 (京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

(2) 「臍帯由来間葉系細胞を用いた細胞治療」

演者 長村登紀子 (東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部)

(3) 「羊膜由来間葉系細胞の高規格・純国産化と細胞治療開発」

演者 山原 研一 (兵庫医科大学 輸血・細胞治療学)

13 「新生児輸血 残された課題」

6月24日(土) 09:00～11:00

座長 鷹野 壽代 (聖マリア病院輸血科)

演者 小山 典久 (豊橋市民病院 小児科)

(1) 「血液製剤の院内分割マニュアルの概要」

演者 藤田 浩 (東京都立墨東病院 輸血科)

(2) 「血液製剤の分割手順と実際」

演者 奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院 輸血部)

(3) 「新生児輸血の問題点 高カリウム血症とカリウム吸着フィルターについて」

演者 小山 典久 (豊橋市民病院小児科)

(4) 「東京都立小児総合医療センターにおける交換輸血の実際」

演者 矢澤百合香 (東京都立小児総合医療センター)

(5) 「院内同型合成血作製の運用と問題点」

演者 西村 滋子 (東京都立墨東病院 輸血科)

(6) 「合成血の供給実績から見る考察」

演者 百瀬 俊也 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 製剤一部)

(7) 「Blood Transfusion for a Newborn Infant : Issue Left for Future」

演者 照屋 純 (米国, ベイラー医科大学教授)

14 「新しい輸血のガイドライン」

6月24日(土) 13:30~15:30

座長 松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

松本 雅則 (奈良県立医科大学 輸血部)

第一部: 科学的根拠にもとづく血液製剤の使用ガイドライン—どこが変わったか?

(1) 「作製方法」

演者 松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

(2) 「赤血球製剤の使用ガイドラインについて」

演者 米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

(3) 「血小板製剤の使用ガイドライン」

演者 高見 昭良 (愛知医科大学 血液内科)

(4) 「新鮮凍結血漿の使用ガイドライン」

演者 松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

(5) 「アルブミン製剤の使用ガイドラインについて」

演者 安村 敏 (富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部)

(6) 「小児輸血のガイドラインについて」

演者 北澤 淳一 (青森県立中央病院 臨床検査部)

第二部 パネルディスカッション: 輸血療法の実施指針—新しい視点を探る

(7) 「輸血療法の実施に関する指針」の作成経緯と問題点」

演者 室井 一男 (自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部長 教授)

(8) 「実施指針における Patient Blood Management の導入に関する検討について」

演者 末岡榮三朗 (佐賀大学医学部附属病院 輸血部)

(9) 「実施指針における病院情報システムのあり方について」

演者 大谷 慎一 (北里大学医学部輸血・細胞移植学)

(10) 「小規模施設における輸血療法の実施指針の策定について」

演者 北澤 淳一 (青森県立中央病院 臨床検査部)

15 「進め! 進め! 輸血のチーム医療」

6月24日(土) 13:30~15:30

座長 羽藤 高明 (愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

吉田 正明 (地域医療機能推進機構 滋賀病院 統括診療部)

(1) 「輸血チームにおける責任医師のリーダーシップ」

演者 河野 武弘 (大阪医科大学附属病院輸血室)

(2) 「ベッドサイドのディフェンダー —血液疾患診療における輸血看護師の役割—」

演者 松本 真弓 (神鋼記念病院 血液病センター高密度無菌治療室)

(3) 「輸血検査技師を超えた臨床検査技師の安全輸血への取り組み」

演者 松浦 秀哲 (藤田保健衛生大学病院)

(4) 「倉敷中央病院における輸血専従薬剤師の役割」

演者 藪田 吉弘 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院血液治療センター)

(5)「病院との橋渡し役としての血液センターの役割」

演者 古保 妙 (新潟県赤十字血液センター)

<ワークショップ>

1 「最近の輸血検査技術の進展 (赤血球, 血小板, 白血球)」

6月22日(木) 09:00~11:00

座長 小笠原健一 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 研究開発部参事 (血液型担当))

藤原 孝記 (帝京大学医学部附属病院 輸血部)

(1)「赤血球血液型検査の進展」

演者 伊藤 正一 (日本赤十字社東北ブロック血液センター)

(2)「不規則抗体検査の進展」

演者 宮崎 孔 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

(3)「臨床現場における輸血前検査の自動化・最新自動機器の現状」

演者 杉本 達哉 (東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科輸血室)

(4)「Luminex システムを用いた血小板抗原・抗体検査」

演者 高橋 大輔 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

(5)「ヒト好中球抗原 (HNA) 検査の現状について」

演者 鎌田 裕美 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

(6)「最新の HLA タイピング法を中心に」

演者 田中 秀則 (HLA 研究所)

2 「院内情報管理システム」

6月23日(金) 15:10~17:40

座長 紀野 修一 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院 輸血部)

(1)「患者安全ガイド (輸血編) の今後の発展性を模索する」

演者 大谷 慎一 (北里大学医学部輸血・細胞移植学)

(2)「マスタ標準化で日本に共通言語をもたらす」

演者 伊丹 直人 (埼玉県立がんセンター)

(3)「JAHIS と連携して病院情報システムの最先端を考える」

演者 高山 和也 (JAHIS/一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会)

3 「止血目的の輸血療法を考える」

6月24日(土) 13:30~15:30

座長 高松 純樹 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

山本 晃士 (埼玉医科大学総合医療センター 輸血細胞医療部)

(1)「術中出血における止血目的の輸血療法 ~クリオプレシピテートの使用状況~」

演者 坂口 嘉郎 (佐賀大学医学部麻酔・蘇生学)

(2)「Tranexamic acid : An Essential Medicine in WHO Model List」

演者 松崎 浩史 (福岡県赤十字血液センター)

(3)「産科大量出血に対するフィブリノゲン製剤の投与効果」

演者 松永 茂剛 (埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター)

(4)「産科・外傷領域におけるクリオプレシピテート投与の実際と意義」

演者 藤田 浩 (東京都立墨東病院 輸血科)

(5)「国内外における止血目的の輸血治療~現状と課題~」

演者 前田 平生 (埼玉医科大学総合医療センター 輸血細胞治療部)

<教育セミナー>**1 「細胞治療に必要な細胞処理・検査に関する技術講習会 テクニカルセミナー」**

6月22日(木) 13:30~15:30

座長 奥山 美樹(がん・感染症センター都立駒込病院 輸血・細胞治療科)

田野崎隆二(慶應義塾大学医学部 輸血・細胞療法センター)

(1) 「アフエレーシスナーズの役割」

演者 堀内 香与(信州大学医学部附属病院輸血部)

(2) 「細胞アフエレーシスにおける臨床工学技士(Clinical Engineer)の役割」

演者 萱島 道德(奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター)

(3) 「幹細胞等の細胞製剤の輸送方法について」

演者 園井 悦子(株式会社セルート)

(4) 「RFID(ICタグ)を活用した細胞製剤管理活用事例について」

演者 白石 裕雄((一社)日本自動認識システム協会 医療自動認識プロジェクト)

(5) 「Q&A(細胞処理に関する各種テキスト,有害事象報告を中心に)」

演者 上田 恭典(倉敷中央病院 血液内科 血液治療センター)

岸野 光司(自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

松本 真弓(神鋼記念病院 血液病センター)

上村 知恵(慶應義塾大学医学部 輸血・細胞療法部)

伊藤 経夫(慶應義塾大学医学部 臨床研究推進センター)

室井 一男(自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

2 「看護師ブラッシュアップセミナー:学会認定・看護師に期待すること」

6月23日(金) 09:00~11:00

座長 田崎 哲典(東京慈恵会医科大学附属病院 輸血部)

池田 和真(岡山県赤十字血液センター所長)

(1) 「学会認定看護師にどのような活動や貢献を求めるか」

演者 立花 直樹(青森県立中央病院)

(2) 「臨床輸血看護師の養成を通して,改善されたことと今後の課題」

演者 竹沢 和男(館林厚生病院 医療技術部 検査室)

(3) 「病棟,外来,輸血部を含む院内での臨床輸血看護師の活動—「壁」から活動のヒントを得る—」

演者 高木 尚江(岡山大学病院看護部 外来(輸血部))

(4) 「アフエレーシスナーズとしての活動」

演者 猪越ひろむ(千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部(看護部 中央診療施設))

(5) 「地域での輸血医療向上に向けた臨床輸血看護師の活動」

演者 横手 恵子(群馬大学医学部附属病院 中央診療部)

3 「自己血輸血の実施管理体制」

6月23日(金) 13:30~15:00

座長 脇本 信博(帝京大学医学部整形外科)

面川 進(秋田県赤十字血液センター)

(1) 「貯血式自己血輸血に関する最近のトピックス」

演者 脇本 信博(帝京大学医学部整形外科)

(2) 「貯血式自己血輸血のリスクマネジメント」

演者 牧野 茂義(虎の門病院輸血部)

(3) 「分娩時の出血対策」

演者 森田 峰人(東邦大学医学部産婦人科教授)

4 「輸血検査技師リフレッシュコース」

6月24日(土) 09:00~11:00

座長 山本 喜則(帝京大学ちば総合医療センター 検査部 輸血検査部門)

岩尾 憲明(順天堂医学部附属静岡病院 血液内科)

技師長 友田 豊(旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

先輩技師 日高 陽子(東邦大学医療センター大森病院 輸血部)

長谷川浩子(千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部)

下野 真義(東京医科大学茨城医療センター 輸血部)

プレゼンター

(1) 「RhD 陽性を緊急輸血したのちに, RhD 陰性が発覚した!」

演者 新井 裕介(筑波大学附属病院 検査部)

(2) 「血液型がオモテウラ不一致! 輸血はどうする?」

演者 木村 沙紀(帝京大学ちば総合医療センター 検査部 輸血検査室)

(3) 「新生児の輸血について考える」

演者 山川 朋世(獨協医科大学病院 輸血部)

解説・まとめ 岸野 光司(自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)

吉場 史朗(東海大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

5 「I&A の Q&A」

6月24日(土) 10:20~11:50

座長 田中 朝志(東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科)

峯岸 正好(日本赤十字社東北ブロック血液センター)

(1) 「新 I&A 制度の特徴と疑義解釈」

演者 田中 朝志(東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科)

(2) 「新 I&A 制度の課題」

演者 飛田 規(磐田市立総合病院)

(3) 「新 I&A 制度における視察員教育」

演者 峯岸 正好(日本赤十字社東北ブロック血液センター)

6 「I&A 視察員教育講習会」

6月24日(土) 13:30~16:30

座長 田中 朝志(東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科)

峯岸 正好(日本赤十字社東北ブロック血液センター)

(1) I&A 視察に関する諸注意

演者 飛田 規(磐田市立総合病院)

(2) 視察員に関する規則

演者 峯岸 正好(日本赤十字社東北ブロック血液センター)

(3) 視察ロールプレイ(小グループ実演)

一般演題(口演/ポスター)

共催セミナー 15 セッション

企業展示